

全国人口の再生産に関する主要指標：1988年

はじめに

1988年日本の全国人口の再生産に関する主要指標を、1988年1月から12月までの出生・死亡統計（確定数）、1988年10月1日現在の日本人人口の推計結果および第42回簡速静止人口表の数値に基づいて算出した。その内容は1930年全国人口を標準人口とする標準化人口動態率、女子の人口再生産率ならびに女子の安定人口諸指標である。各指標の定義については、研究資料の第243号（1986年12月刊）を参照されたい。なお、女子の安定人口諸指標のうち年齢構造係数については、従来、女子の年齢構造係数のみを示してきた。安定人口諸指標がその年齢別出生・死亡秩序による人口の究極の姿を示すものであることおよび安定人口の年齢構造が標準化動態率算定の基礎人口に用いられることなどの意義に鑑み、今回の算定では、男子の年齢構造をも参考として年齢ピラミッドの図とともに示すことにした。なお、ここに示す男子の年齢構造は、女子人口の安定人口増加率に基づき算定されたものであって、男子人口の安定人口増加率に基づくものではないことを注意しなければならない。

主要結果

1988年の出生数は1,314,006であり、死亡数は793,014である。前年の1987年の出生数は、ヒノエウマの年における136万1千よりも1万4千少ない134万7千であった。1988年は前年の出生数よりさらに3万3千少なく、これによって戦後はもとより20世紀に入ってから日本が経験するもっとも少ない出生数の記録を更新した。死亡数は、1983年以降の漸増傾向が1986年に一時とまったが、87年にはまた微増の傾向を示していた。1988年は前年に比べ4万2千の大幅増加となり、年間80万の大台に迫る勢いとなった。これは前年に比べ、主として高年齢層において心疾患、脳血管疾患、肺炎、気管支炎といった死因による死亡数の増加がみられたことによる。

1988年の普通出生率は10.77%、普通死亡率は6.50%、自然増加率は4.27%となり、普通出生率と自然増加率は、戦後のもっとも低い水準の記録を更新した。前年に比べ普通出生率は0.31ポイント、自然増加率は0.63ポイントの低下となったのに対し、逆に普通死亡率は0.32ポイントの上昇となった。

標準化人口動態率をみると、出生率は前年の11.95%から0.29ポイント低下して11.66%となり、死亡率は前年の2.88%に対し0.02ポイントだけ増加の2.90%であった。また標準化自然増加率は8.76%となった。標準人口である1930年人口の年齢構成は若年齢の比重が大きいため、比較的若い年齢層の率の変化が大きい出生率などの変動には相対的に大きく反応するが、1987年から88年にかけての死亡率の変動のように高年齢層の率の変化に対してはあまり反応しないとみられる。

人口再生産率は、1981年から84年まで上昇傾向にあったが、その後は最近における出生率の低下を反映して低下している。1988年の合計特殊出生率は1.656となり、1987年より0.035ポイント低下した。年齢別出生率を前年と比較すると、30歳台前半では出生率はむしろ上昇回復しているが、20歳台の低下とくに後半の出生率の低下が大きく響いており、結果として合計特殊出生率の大幅な低下となっている。それにともなって、1988年の総再生産率は0.806、純再生産率は0.796とそれぞれ前年より低下した。

女子人口の安定人口動態率をみると、標準化人口動態率と同様、増加率と出生率はともに前年より低下し、死亡率は上昇した。1988年の女子の安定人口世代間隔は、28.76年である。また、安定人口年齢構造の女子における65歳以上の人口割合は28.40%と1988年実際人口の13.26%の2倍以上の割合となっている。

1988年の安定人口増加率 r の値は -0.00791 であるが、この r が長期に持続すると仮定すると、すなわち安定人口理論の増加率が適用できるような長い期間（理論上は無限の期間、実用上は世代間隔にして10世代以上の3~400年以上）にわたって1988年の年齢別出生率・死亡率の組み合わせが継続するとすると、その場合の継続期間後の人口規模が計算できる。それは多分に仮設的な計算に過ぎないものであり、いわゆる将来推計のようにそうなることが予想されるといった性格の数値ではない。しかし仮にそうした計算をしてみると、1988年の年齢別出生率・死亡率が継続するとして1988年に1億2,200万の人口が、500年後には233万に、また1,000年後には4万4,600余になるという計算結果がでた。これは、相当長期にわたり理論上計算される一定の人口増加（減少）率が続いた場合についての仮設的な計算であるから、ただちにどうといったものではないが、参考としては興味

深い数値である。

安定人口年齢構造は、これまで女子人口についてのみ計算結果が公表されてきた。ところで安定人口年齢構造は、その年齢別出生率・死亡率による人口集団の究極の姿を表現するものであり、また標準化人口動態率の標準人口に用いられるなど、単に女子集団だけに観察を止めておくには惜しい独自の意義をもっている。そこで1988年については試みとして、男子をも含めた安定人口年齢構造の計算結果を示すことにする。ただし、ここでの男子の年齢構造は、従来と同じ女子人口の安定人口増加率 r を用いてそれらに男子の静止人口および男女性比を適用してもとめたものである。より具体的には以下の方法による。

安定人口における女子の年齢構造の計算は、次の式によってもとめられる¹⁾。

$$c_{x+0.5}^F = b \cdot e^{-r(x+0.5)} \cdot L_x^F$$

ただし、 $c_{x+0.5}^F$ は安定人口における満 x 歳の女子人口、 r は女子人口の安定人口増加率、 b は安定人口出生率、 L_x^F は女子の静止人口である。

そこで男子人口の年齢構造をもとめる場合にも基本的にこの式を援用して

$$c_{x+0.5}^M = b \cdot e^{-r(x+0.5)} \cdot L_x^M \cdot s$$

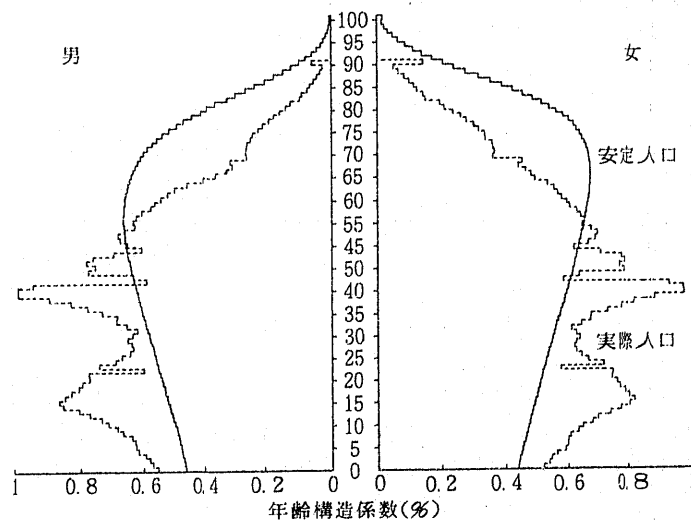
によった。ここで L_x^M は男子の静止人口、 s は出生性比である²⁾。

論理的一貫性からは、安定人口における男子の年齢構造をもとめる場合には男子人口の増加率を用いるべきであるが、男子と女子では再生産期間および結婚年齢の違いにより世代間隔が異なるため増加率も異なり、男子と女子の人口構成も整合性がとれないことになる。したがってここでは男子の年齢構成を計算するに際しても、女子人口の安定人口増加率を適用し、それに出生時の男女性比を乗じさらに男子の静止人口を適用した。

結果は図1に示すもので1988年の実際人口（日本人）に比べて非常になめらかではあるが高齢化が進んでいること、高齢化の進行は女子において著しいことが分かる。

図1. 安定人口と実際人口の年齢ピラミットの比較

Figure 1. Population Pyramid for Stable and Actual Population:1988



注) 安定人口の100歳には100歳以上のものを含み、
実際人口の90歳には90歳以上のものを含む。

1) 人口問題研究所、『研究資料』、第161号、1964年11月、p.11. 参照。

2) 本稿の安定人口における男子の年齢構造の計算方法については、次の文献を参照。

H. Shryock and J. Siegel, *The Methods and Materials of Demography*, US Bureau of the Census, 1975, pp.526-531.

岡崎陽一、『人口統計学』、古今書院、1980年、pp.150-158.

第1表 年次別標準化人口動態率：1925年～1988年（付 普通人口動態率）

Table1. Standardized and Crude Vital Rates: 1925-1988

年次 Year	標準化人口動態率(‰) Standardized vital rates			1930年を基準とした指数(%) Index of standardized vital rates(1930=100)			〔参考〕普通人口動態率(‰) Crude vital rates		
	出生率 Birth rate	死亡率 Death rate	自然増加率 Natural inc. rate	出生率 Birth rate	死亡率 Death rate	自然増加率 Natural inc. rate	出生率 Birth rate	死亡率 Death rate	自然増加率 Natural inc. rate
1925	35.27	20.24	15.03	109.0	111.4	106.0	34.92	20.27	14.65
1930	32.35	18.17	14.18	100.0	100.0	100.0	32.35	18.17	14.18
1940	27.74	16.80	10.94	85.7	92.5	77.2	28.95	16.24	12.71
1947	30.87	15.40	15.47	95.4	84.8	109.1	34.54	14.68	19.86
1950	25.47	11.03	14.44	78.7	60.7	101.8	28.27	10.95	17.32
1955	16.88	7.70	9.18	52.2	42.4	64.7	19.52	7.82	11.70
1960	14.69	7.02	7.67	45.4	38.6	54.1	17.30	7.61	9.69
1965	15.74	5.99	9.75	48.7	33.0	68.8	18.67	7.17	11.50
1970	15.26	5.22	10.04	47.2	28.7	70.8	18.76	6.91	11.85
1975	14.32	4.25	10.07	44.3	23.4	71.0	17.09	6.31	10.78
1976	13.65	4.09	9.56	42.2	22.5	67.4	16.30	6.25	10.05
1977	13.31	3.88	9.43	41.1	21.4	66.5	15.46	6.08	9.38
1978	13.25	3.76	9.49	41.0	20.7	66.9	14.92	6.08	8.84
1979	13.07	3.60	9.47	40.4	19.8	66.8	14.23	5.97	8.26
1980	12.76	3.62	9.14	39.4	19.9	64.5	13.56	6.21	7.35
1981	12.55	3.48	9.07	38.8	19.2	64.0	13.05	6.15	6.90
1982	12.75	3.31	9.44	39.4	18.2	66.6	12.84	6.03	6.81
1983	12.95	3.31	9.64	40.0	18.2	68.0	12.70	6.23	6.47
1984	12.96	3.20	9.76	40.1	17.6	68.8	12.46	6.19	6.27
1985	12.53	3.06	9.47	38.7	16.8	66.8	11.90	6.25	5.65
1986	12.26	2.99	9.27	37.9	16.5	65.4	11.43	6.21	5.22
1987	11.95	2.88	9.07	36.9	15.9	64.0	11.08	6.18	4.90
1988	11.66	2.90	8.76	36.0	16.0	61.8	10.77	6.50	4.27

1930年全国人口を標準人口に採り、Newsholme - Stevenson の任意標準人口標準化法の直接法による。総務庁統計局の国勢調査人口およびそれに基づく推計人口、人口動態統計による出生・死亡数によって算出。率算出の基礎人口は、1940年以前は総人口（日本に在住する外国人を含む）を、1947年以降は日本人人口を用いている。なお、1940年以前および1973年以降は沖縄県を含んでいる。

第2表 年次別女子の人口再生産率：1925年～1988年
Table 2. Reproduction Rates for Female: 1925-1988

年次 Year	合計特殊 出生率 TFR	総 再生産率 GRR	純 再生産率 NRR	再生産 残存率 (3) / (2)	静止粗 再生産率 (1) / (3)	(1) - (5)	1930年を基準とした指数 Index of reproduction rates (1930=100)		
							合計特殊 出生率 TFR	総 再生産率 GRR	純 再生産率 NRR
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)			
1925	5.107	2.511	1.559	0.621	3.276	1.831	108.4	109.3	102.5
1930	4.713	2.297	1.521	0.662	3.099	1.614	100.0	100.0	100.0
1940	4.113	2.006	1.437	0.716	2.862	1.251	87.3	87.3	94.5
1947	4.541	2.208	1.717	0.778	2.645	1.896	96.4	96.1	112.9
1950	3.650	1.772	1.511	0.853	2.416	1.234	77.4	77.1	99.3
1955	2.369	1.152	1.058	0.918	2.239	0.130	50.3	50.2	69.6
1960	2.004	0.975	0.921	0.945	2.176	-0.172	42.5	42.4	60.6
1965	2.139	1.042	1.008	0.967	2.122	0.017	45.4	45.4	66.3
1970	2.135	1.031	1.004	0.974	2.126	0.009	45.3	44.9	66.0
1975	1.909	0.926	0.908	0.981	2.102	-0.193	40.5	40.3	59.7
1976	1.852	0.898	0.882	0.982	2.100	-0.248	39.3	39.1	58.0
1977	1.801	0.874	0.859	0.983	2.097	-0.296	38.2	38.0	56.5
1978	1.792	0.870	0.855	0.984	2.095	-0.303	38.0	37.9	56.2
1979	1.769	0.858	0.845	0.985	2.093	-0.324	37.5	37.4	55.6
1980	1.747	0.848	0.835	0.985	2.091	-0.344	37.1	36.9	54.9
1981	1.741	0.846	0.833	0.986	2.089	-0.348	36.9	36.8	54.8
1982	1.770	0.861	0.849	0.986	2.085	-0.315	37.6	37.5	55.8
1983	1.801	0.875	0.864	0.987	2.084	-0.283	38.2	38.1	56.8
1984	1.811	0.882	0.870	0.987	2.081	-0.270	38.4	38.4	57.2
1985	1.764	0.858	0.848	0.988	2.081	-0.317	37.4	37.4	55.8
1986	1.723	0.837	0.827	0.988	2.084	-0.361	36.6	36.4	54.4
1987	1.691	0.822	0.812	0.988	2.083	-0.392	35.9	35.8	53.4
1988	1.656	0.806	0.796	0.989	2.080	-0.423	35.1	35.1	52.4

注：国勢調査人口およびそれに基づく推計人口，人口動態統計による出生数ならびに生命表の生残数（ L_x ）によって算出。率算出の基礎人口は，1940年以前は総人口（日本に在住する外国人を含む）を，1947年以降は日本人人口を用いている。なお，1940年以前および1973年以降は沖縄県を含む。

第3表 年次別女子の安定人口動態率, 平均世代間隔および年齢構造係数: 1925年~1988年
(付 女子の実際人口年齢構造係数)

Table 3. Intrinsic Vital Rates, Average Length of Generation of Stable Population and Age Composition of Stable and Actual Populations for Female: 1925-1988

年次 Year	安定人口動態率(‰) Intrinsic vital rates			安定人口 平均世代 間隔(年) Ave. len. of gen.	安定人口年齢構造係数(%) Age composition of stable population			[参考] 実際人口年齢構造係数(%) Age composition of actual population		
	増加率 Increase rate	出生率 Birth rate	死亡率 Death rate		0-14	15-64	65+	0-14	15-64	65+
1925	15.19	35.95	20.76	29.24	37.57	57.77	4.66	36.54	57.73	5.73
1930	14.19	32.87	18.68	29.56	35.79	58.83	5.38	36.45	58.11	5.44
1940	11.99	28.60	16.61	30.22	33.59	60.36	6.05	35.71	58.84	5.45
1947	18.09	32.12	14.03	29.89	36.34	58.42	5.24	34.04	60.50	5.47
1950	14.12	25.30	11.18	29.23	32.07	60.87	7.07	34.11	60.24	5.65
1955	1.95	15.86	13.91	28.77	22.23	64.15	13.62	32.10	61.89	6.02
1960	-2.95	12.72	15.67	27.86	18.81	64.63	16.57	28.82	64.80	6.39
1965	0.30	13.80	13.50	27.68	20.23	63.72	16.05	24.64	68.43	6.93
1970	0.16	13.42	13.26	27.73	19.80	63.06	17.14	22.94	69.26	7.80
1975	-3.51	11.25	14.76	27.47	17.12	61.92	20.95	23.35	67.79	8.86
1976	-4.57	10.67	15.24	27.50	16.39	61.48	22.13	23.30	67.56	9.14
1977	-5.51	10.17	15.68	27.60	15.74	61.00	23.25	23.22	67.35	9.44
1978	-5.64	10.03	15.68	27.67	15.55	60.61	23.84	23.06	67.20	9.74
1979	-6.09	9.84	15.93	27.73	15.31	60.60	24.09	22.82	67.10	10.07
1980	-6.48	9.61	16.08	27.79	15.00	60.23	24.77	22.52	67.11	10.37
1981	-6.53	9.54	16.07	27.88	14.91	60.00	25.09	22.43	66.89	10.68
1982	-5.84	9.77	15.60	27.98	15.19	59.79	25.02	21.99	67.03	10.98
1983	-5.22	10.01	15.23	28.06	15.49	59.78	24.72	21.57	67.16	11.27
1984	-4.94	10.06	14.99	28.17	15.54	59.47	24.99	21.11	67.37	11.52
1985	-5.84	9.64	15.47	28.32	15.00	59.18	25.81	20.61	67.38	12.01
1986	-6.68	9.18	15.86	28.45	14.39	58.40	27.22	20.04	67.60	12.36
1987	-7.27	8.92	16.19	28.60	14.05	58.22	27.73	19.40	67.77	12.83
1988	-7.91	8.64	16.55	28.76	13.68	57.93	28.40	18.72	68.01	13.26

第4表 女子の安定人口増加率, 出生率および死亡率ならびに平均世代間隔

Table 4. Intrinsic Vital Rates and Average Length of Generation of Stable Population for Female: 1988

安定人口指標	1988年	1987年	差
安定人口増加率 r	-0.00791	-0.00727	-0.00064
安定人口出生率 b	0.00864	0.00892	-0.00028
安定人口死亡率 d	0.01655	0.01619	0.00036
安定人口平均世代間隔 \bar{T}	28.76493	28.60126	0.16367
静止人口平均年齢 u	41.89665	41.84122	0.05543
静止人口平均世代間隔 α	28.70065	28.54377	0.15688

第5表 女子の年齢（各歳・5歳階級）別人口，出生数，出生率および生残数ならびに人口再生産率：1988年
 Table 5. Population, Number of Births and Specific Fertility Rates by Age, and Reproduction Rates for Female : 1988

年 齢 x (1)	女子人口 P_x^F (2)	出 生 数			出 生 率		生 残 数 (静止人口) L_x^F (8)	期待女兒数 (8) × (7) 10万 (9)
		総 数 B_x (3)	男 B_x^M (4)	女 B_x^F (5)	出生率 (3) / (2) (6)	女兒出生率 (5) / (2) (7)		
15	1,004,748	120	70	50	0.00012	0.00005	99,267	0.00005
16	981,595	615	320	295	0.00063	0.00030	99,248	0.00030
17	957,881	2,064	1,092	972	0.00215	0.00101	99,227	0.00101
18	928,749	4,634	2,406	2,228	0.00499	0.00240	99,201	0.00238
19	914,822	9,901	4,986	4,915	0.01082	0.00537	99,173	0.00533
20	893,365	17,204	8,915	8,289	0.01926	0.00928	99,143	0.00920
21	899,400	24,812	12,713	12,098	0.02759	0.01345	99,113	0.01333
22	701,036	35,139	17,869	17,269	0.05012	0.02463	99,084	0.02441
23	868,680	57,924	29,908	28,017	0.06668	0.03225	99,053	0.03194
24	808,215	79,319	40,786	38,533	0.09814	0.04768	99,021	0.04720
25	785,500	102,717	52,605	50,112	0.13077	0.06380	98,987	0.06314
26	762,736	120,438	61,893	58,545	0.15790	0.07676	98,953	0.07594
27	753,407	130,073	66,984	63,088	0.17265	0.08374	98,917	0.08282
28	761,666	131,923	67,980	63,942	0.17320	0.08395	98,880	0.08300
29	779,136	126,860	65,340	61,519	0.16282	0.07896	98,840	0.07803
30	762,419	106,392	54,653	51,739	0.13955	0.06786	98,799	0.06703
31	742,092	86,772	44,589	42,183	0.11693	0.05684	98,756	0.05612
32	784,666	71,974	36,769	35,206	0.09173	0.04487	98,710	0.04428
33	817,290	56,426	28,785	27,642	0.06904	0.03382	98,663	0.03336
34	820,131	42,629	21,900	20,728	0.05198	0.02527	98,611	0.02492
35	880,566	32,084	16,457	15,626	0.03644	0.01775	98,555	0.01749
36	934,180	24,070	12,371	11,699	0.02577	0.01252	98,493	0.01233
37	997,905	17,229	8,762	8,467	0.01727	0.00848	98,424	0.00835
38	1,078,623	12,652	6,442	6,210	0.01173	0.00576	98,349	0.00566
39	1,188,522	8,933	4,602	4,331	0.00752	0.00364	98,267	0.00358
40	1,186,039	5,642	2,905	2,737	0.00476	0.00231	98,179	0.00227
41	1,131,166	2,939	1,505	1,434	0.00260	0.00127	98,084	0.00124
42	711,413	1,149	580	569	0.00162	0.00080	97,980	0.00078
43	776,050	706	334	372	0.00091	0.00048	97,867	0.00047
44	950,019	384	193	191	0.00040	0.00020	97,744	0.00020
45	924,927	194	106	88	0.00021	0.00010	97,613	0.00009
46	953,093	52	37	15	0.00005	0.00002	97,471	0.00002
47	935,148	20	16	4	0.00002	0.00000	97,317	0.00000
48	857,272	9	6	3	0.00001	0.00000	97,146	0.00000
49	750,276	6	2	4	0.00001	0.00001	96,957	0.00001
Total	30,982,733	1,314,006	674,883	639,123	1.65636	0.80563	3,448,090	0.79627
15-19	4,787,795	17,334	8,874	8,460	0.00362	0.00177	99,223	0.00175
20-24	4,170,696	214,397	110,191	104,206	0.05141	0.02499	99,083	0.02476
25-29	3,842,445	612,011	314,803	297,208	0.15928	0.07735	98,915	0.07651
30-34	3,926,598	364,193	186,696	177,498	0.09275	0.04520	98,708	0.04462
35-39	5,079,796	94,969	48,635	46,334	0.01870	0.00912	98,417	0.00898
40-44	4,754,687	10,820	5,517	5,303	0.00228	0.00112	97,971	0.00109
45-49	4,420,716	281	167	114	0.00006	0.00003	97,301	0.00003

本表の数値は，前掲第1～3表の各指標の1988年分算定に用いたものである。

女子人口は，総務庁統計局の推計による1988年10月1日現在の日本人人口。出生数は，厚生省大臣官房統計情報部の1988年人口動態統計。生残数は，人口問題研究所の第42回簡速静止人口表（1988年4月～89年3月）による L_x^F 。なお，本表の出生数は母の年齢が15歳未満のものを15歳に，50歳以上のものを49歳に加え，不詳の出生数については，15～49歳の既知の年齢別数値の割合に応じて按分補正したものである。

(6)欄の Total は合計特殊出生率，(7)欄の Total は総再生産率，(9)欄の Total は純再生産率。

第6表 男女、年齢（5歳階級）別人口、死亡数および死亡率：1988年
 Table 6. Population, Number of Deaths and Specific Mortality Rates
 by 5 year Age Groups and Sexes : 1988

年 齢 階 級 x	総 数 Both sexes			男 Male			女 Female		
	人 口 P_x	死亡数 D_x	死亡率 m_x	人 口 P_x^M	死亡数 D_x^M	死亡率 m_x^M	人 口 P_x^F	死亡数 D_x^F	死亡率 m_x^F
Total	122,026,137	793,014	0.00650	59,963,996	428,094	0.00714	62,062,141	364,920	0.00588
0 - 4	6,926,284	8,821	0.00127	3,553,464	4,905	0.00138	3,372,820	3,917	0.00116
5 - 9	7,713,309	1,451	0.00019	3,952,178	883	0.00022	3,761,131	568	0.00015
10 - 14	9,204,241	1,391	0.00015	4,717,694	865	0.00018	4,486,547	526	0.00012
15 - 19	9,828,891	4,433	0.00045	5,041,096	3,285	0.00065	4,787,795	1,148	0.00024
20 - 24	8,520,750	4,778	0.00056	4,350,054	3,484	0.00080	4,170,696	1,293	0.00031
25 - 29	7,783,085	4,480	0.00058	3,940,640	3,029	0.00077	3,842,445	1,451	0.00038
30 - 34	7,923,671	5,300	0.00067	3,997,073	3,393	0.00085	3,926,598	1,906	0.00049
35 - 39	10,209,318	10,392	0.00102	5,129,522	6,611	0.00129	5,079,796	3,782	0.00074
40 - 44	9,526,732	14,608	0.00153	4,772,045	9,362	0.00196	4,754,687	5,246	0.00110
45 - 49	8,793,399	21,375	0.00243	4,372,683	13,907	0.00318	4,420,716	7,468	0.00169
50 - 54	8,109,724	33,060	0.00408	4,012,070	22,231	0.00554	4,097,654	10,829	0.00264
55 - 59	7,460,462	47,689	0.00639	3,657,024	32,961	0.00901	3,803,438	14,728	0.00387
60 - 64	6,297,541	58,195	0.00924	2,970,858	38,276	0.01288	3,326,683	19,919	0.00599
65 - 69	4,592,514	65,006	0.01415	1,905,292	38,227	0.02006	2,687,222	26,779	0.00997
70 - 74	3,674,260	91,745	0.02497	1,529,041	53,265	0.03484	2,145,219	38,480	0.01794
75 - 79	2,841,128	127,409	0.04484	1,133,100	68,525	0.06048	1,708,028	58,884	0.03447
80+	2,620,828	292,882	0.11175	930,162	124,886	0.13426	1,690,666	167,996	0.09937

本表の数値は、前掲第1表の標準化死亡率の1988年分算定に用いたものである。

人口は、総務庁統計局の推計による1988年10月1日現在の日本人人口、死亡数は、厚生省大臣官房統計情報部の1988年人口動態統計による。なお、本表の死亡数は、年齢不詳分を既知の男女年齢別数値の割合に応じて按分補正したものである。

第7表 女子の安定人口年齢（各歳・5歳階級別）構造係数：1988年
 Table 7. Age Composition of Stable Population for Female : 1988

年 齢 x	構造係数 C_x^f	年 齢 x	構造係数 C_x^f	年 齢 x	構造係数 C_x^f	年 齢 x	構造係数 C_x^f	年 齢 x	構造係数 C_x^f
0	0.865	25	1.046	50	1.246	75	1.227	0 - 4	4.384
1	0.870	26	1.054	51	1.253	76	1.203	5 - 9	4.555
2	0.877	27	1.062	52	1.260	77	1.175	10 - 14	4.736
3	0.883	28	1.070	53	1.267	78	1.142	15 - 19	4.923
4	0.890	29	1.078	54	1.273	79	1.103	20 - 24	5.114
5	0.897	30	1.087	55	1.279	80	1.059	25 - 29	5.312
6	0.904	31	1.095	56	1.285	81	1.009	30 - 34	5.514
7	0.911	32	1.103	57	1.290	82	0.954	35 - 39	5.720
8	0.918	33	1.111	58	1.295	83	0.895	40 - 44	5.924
9	0.925	34	1.119	59	1.300	84	0.830	45 - 49	6.121
10	0.932	35	1.128	60	1.304	85	0.763	50 - 54	6.300
11	0.940	36	1.136	61	1.308	86	0.692	55 - 59	6.450
12	0.947	37	1.144	62	1.311	87	0.619	60 - 64	6.550
13	0.955	38	1.152	63	1.313	88	0.546	65 - 69	6.555
14	0.962	39	1.160	64	1.314	89	0.473	70 - 74	6.374
15	0.969	40	1.169	65	1.315	90	0.403	75 - 79	5.850
16	0.977	41	1.177	66	1.314	91	0.336	80 - 84	4.748
17	0.985	42	1.185	67	1.312	92	0.274	85 - 89	3.093
18	0.992	43	1.193	68	1.309	93	0.217	90 - 94	1.398
19	1.000	44	1.201	69	1.304	94	0.168	95 - 99	0.347
20	1.007	45	1.209	70	1.297	95	0.125	100 +	0.033
21	1.015	46	1.217	71	1.288	96	0.091	0 - 14	13.675
22	1.023	47	1.224	72	1.277	97	0.063	15 - 64	57.928
23	1.031	48	1.232	73	1.264	98	0.042	65 +	28.397
24	1.038	49	1.239	74	1.247	99	0.026	Total	100.000

第8表 男女別安定人口年齢構造と実際人口年齢構造：1988年

Table 8. Age Composition of Stable Population and Actual Population : 1988 (%)

年 齢 age x	安定人口年齢構造係数 Age composition of stable population			年 齢 age x	実際人口年齢構造係数 Age composition of actual population		
	男女計 Both Sexes	男 Male	女 Female		男女計 Both Sexes	男 Male	女 Female
Total	100.000	48.954	51.065	Total	100.000	49.140	50.860
0 - 4	4.600	2.362	2.238	0 - 4	5.676	2.912	2.764
5 - 9	4.777	2.452	2.325	5 - 9	6.321	3.239	3.082
10 - 14	4.966	2.549	2.418	10 - 14	7.543	3.866	3.677
15 - 19	5.160	2.647	2.513	15 - 19	8.055	4.131	3.924
20 - 24	5.353	2.743	2.611	20 - 24	6.983	3.565	3.418
25 - 29	5.554	2.842	2.712	25 - 29	6.378	3.229	3.149
30 - 34	5.761	2.946	2.815	30 - 34	6.493	3.276	3.218
35 - 39	5.969	3.049	2.920	35 - 39	8.367	4.204	4.163
40 - 44	6.171	3.147	3.024	40 - 44	7.807	3.911	3.896
45 - 49	6.357	3.232	3.125	45 - 49	7.206	3.583	3.623
50 - 54	6.509	3.293	3.216	50 - 54	6.646	3.288	3.358
55 - 59	6.597	3.304	3.293	55 - 59	6.114	2.997	3.117
60 - 64	6.598	3.254	3.344	60 - 64	5.161	2.435	2.726
65 - 69	6.467	3.120	3.346	65 - 69	3.764	1.561	2.202
70 - 74	6.093	2.839	3.254	70 - 74	3.011	1.253	1.758
75 - 79	5.332	2.345	2.986	75 - 79	2.328	0.929	1.400
80 - 84	4.047	1.623	2.424	80 - 84	1.325	0.498	0.827
85 - 89	2.432	0.853	1.579	85 - 89	0.620	0.207	0.413
90 - 94	1.007	0.294	0.714	90 +	0.202	0.057	0.145
95 - 99	0.230	0.053	0.177				
100 +	0.020	0.007	0.033				
0 - 14	14.344	7.363	6.981	0 - 14	19.540	10.017	9.523
15 - 64	60.029	30.458	29.572	15 - 64	69.209	34.618	34.591
65 +	25.627	11.134	14.512	65 +	11.251	4.505	6.745

安定人口年齢構造係数のうち男子についてのもともめ方は本文参照。

実際人口年齢構造係数は、総務庁統計局の1988年10月1日現在日本人人口による。